

知っていましたか？ 大阪湾は渡り鳥の中継地



小さなからだで、国境を越え、海を越え、何千キロもの旅をする渡り鳥。渡りのルートは、「フライウェイ」として知られています。世界には9つの主要なフライウェイがあります。渡り鳥たちはフライウェイ上にある湿地で羽を休め採餌をし、次の飛行のためのエネルギーを蓄えます。大阪湾は渡り鳥たちの中継地として重要な場所です。

大阪湾奥は国内有数の 渡り性水鳥重要生息地

ロシア・アラスカ方面から、東・東南アジアを経て、オーストラリア・ニュージーランド方面への鳥の渡りのルートは「東アジア・オーストラリア・フライウェイ」といって、世界でも重要なフライウェイのひとつです。

日本はこの22か国に及ぶフライウェイの生息地ネットワークに参加しており、生息地は協力して、渡り性水鳥に関する普及啓発・保全・調査研究等の活動をしています。

大阪の南港野鳥園も国内34カ所の参加地の一つで、南港野鳥園・夢洲は大阪府の生物多様性ホットスポットAランクに指定されているところ。大阪の湾奥は、九州について、東京湾・三河湾と並ぶシギ・チドリの飛来地となっています。



海岸線の自然は、生物多様性の宝庫

大阪湾の干潟は戦後90%以上埋め立てられました。それはもともと魚や水鳥のすみかだった場所です。

この20年で大阪湾に飛来するシギ・チドリは半減しました。中継地や繁殖地が減少すれば、長旅が続けられず子孫が増やせないからです。それは海だけ、鳥だけの問題ではなく、世界中で起きていることです。それで2022年12月には昆明・モンテリオール国際会議で「生物多様性枠組」が採択され、劣化した生態系の30%を回復するという目標が設定されました。

私たち人間がおいしいものを食べられるのも、生物多様性があるからこそです。渡り性水鳥が元気に子孫を増やせるということは、各地の海や海岸の生物多様性が守られているということを意味します。私たちもみんなで、海わたる鳥の休める環境を守っていきませんか。



大阪湾で生まれるいのち・育ついのち

■飛び立て！夢洲うまれのセイタカシギ

国内の繁殖地はわずか数か所の上、繁殖成功率が低いとの報告もあるセイタカシギ。さまざまな週齢のヒナや幼鳥が、数年続けて複数確認されています（写真は2021年）。



■埋め立て工事中の砂礫地が好き！ コアジサシ



4月下旬日本にきて、集団繁殖するコアジサシは、近年繁殖適地である大規模な自然海岸や自然の河川敷などの砂礫地が減少し、繁殖成功率も低下、絶滅が危惧されています。夢洲の埋め立て工事中の大規模な砂礫地は格好の繁殖場所です。毎年やってきて、集団営巣地（コロニー）をつくっていました。しかし現在は万博・IRの建設により夢洲を追われて、さらに沖合の埋め立て地の新島で繁殖をしています。環境省が「繁殖地の保全・配慮指針」も出している絶滅危惧種のコアジサシは、集団繁殖地を保護しないと次世代に命をつなぐことができないのです。



みんなで守ろう 海わたる鳥

LET'S CONSERVE OUR
MIGRATORY BIRDS



ヨシ原のツバメ



セイタカシギ
環境省レッドリストVU
(絶滅危惧2類)
夢洲で繁殖



ツクシガモ
環境省レッドリストVU
(絶滅危惧2類)

干潟は何千キロも旅する
鳥たちのホテル&レストラン
海岸線の自然は地球にとっても
大事な生物多様性の宝庫



ホシハジロ
IUCN (国際自然保護連合)
VU (危急)



ハマシギ
環境省レッドリストVU
(絶滅危惧2類)



5/11
(土)

5/19
(日)

「WELCOME to 大阪湾
みんなで守ろう海わたる鳥」展

大阪湾岸の野鳥飛来地を観察したり、保護したりしているグループ・個人が、野鳥たちの写真やワークショップなどで活動を紹介します。



9:30-16:45 入場無料
(動物園入園料別途必要)
会場：天王寺動物園 ZOO MUSEUM

共催
公益社団法人大阪自然環境保全協会
日本野鳥の会大阪支部
NPO法人共生の森 他



チュウシャクシギ
大阪府レッドリスト
NT (準絶滅危惧)



シロキドリ
大阪府レッドリスト
NT (準絶滅危惧)